

みたけ夢だより



10月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>
何の秋？ 食欲の秋！

『空飛ぶクルマ』

校長 羽田 敏隆

「暑さ寒さも彼岸まで」。残暑が厳しかった9月が終わり、週明けからは10月。皆さんは秋の深まりをどのような時に感じますか？朝と日中の寒暖差が大きいこの時期です。コロナ感染症対策の継続を含め、子どもも大人も健康管理に気をつけ元気に過ごしましょう。

先日、NHKのBS-1で「空飛ぶクルマ」についての番組を見ました（再放送でした）。SF映画などではおなじみの未来の象徴的な「空飛ぶクルマ」。最先端の技術で近い



将来の実現が大いに期待されており、世界各国で400社以上が実用化に向けて開発競争を繰り広げているそうです。決まってくくりがないので、コンセプトは各社様々で形も大きさもいろいろあり、興味が湧きました。安全面やコストなどハードルはまだ高いですが、アイデアを出し合って課題をクリアする姿勢を見習いたいと感じました（10月1日 NHKBSプレミアム夜10時にも特集番組があります）。

今から40年以上前に最高時速300キロを目指した新幹線500系の開発プロジェクトでは、高速で走るが故の“騒音”を抑えるのが至上命令でした。騒音の原因の一つが「パンタグラフ（電車の屋根につけられた、電線から電気を受けるための装置）」の空気抵抗でした。この課題解決に対して「鳥の中でフクロウが一番静かに飛ぶ」ことを知った開発グループは、フクロウの羽に独特な、のこぎり状のギザギザに着目しました。そして、パンタグラフにギザギザをつけて30%の騒音削減に成功したそうです。

夢の実現に向け、自由な発想が不可能を可能とします。いろいろな困難にあっても、多角的な視点がヒントになって解決策を見つけることができます。私たち教職員も、このような考え方や情熱を大切に、このような姿勢を、未来を担う子どもたちにも身につけさせたいと感じています。

○ 7月から始まった体育館の屋根工事が無事に終わりました。体育が体育館で出来なかつたりグラウンドが狭かつたり、そして東門が使えないことで登下校にも大きな影響があったりしました。ご迷惑をおかけしました。登下校に関しては10月15日～12月23日に「個別登校」を試行し、アンケートでの意見を踏まえて今後の登校の形態を決定していくことにしています。



○ 計画委員会を中心に「朝のあいさつ運動」を行っています。子どもたちの「おはようございます」の元気な声が響いています。校内にあいさつの輪が広がり、習慣として定着し、あいさつをきっかけにコミュニケーションが深まり、笑顔につながり…。そのような連鎖を目指しています。



○ 運動会が1か月後に迫ってきました。時代や環境の変化、新教育課程の実施などに伴い学校行事の形態は変わっていきませんが、一生懸命に走ったり演技の練習に取り組んだりする子どもたちの姿は素晴らしいです。コロナ禍で制限はありますが、子どもたちの成長した姿を保護者の皆様にご覧いただきたいと思ひます。詳細は本日配付のお知らせをご覧ください。

